

京都薬科大がPCR検査室

実務実習生向け

京都薬科大学(京都市)はこのほど、衛生検査所の認可を受け、学内にPCR検査室を開設した。新型コロナウイルス感染対策の一環で、府内の実習先から検査を求められている実務実習生にPCR検査を実施する。2月15日から運用を開始した。

同大学によると、病院などで実務実習を行う学生に対し、PCR検査の受検を要望する実習施設が増えているという。

学内のPCR検査室では、唾液検体によるRT-PCR法を行う。対象は、主に府内の施設で実習を行う学生のうち、実習前にPCR検査受検が必要な延べ50人とし、現時点では、ほかの学内関係者や学外者などの検査はしない。ただし、感染拡大などにより行政から要請があった場合には、対応できる体制を整備しているという。

検査は、薬剤師免許を持ち、分析技術を持つ同大学教員が行うという。陽性者が出た場合には産業医(校医)と連携して対応し、実習施設への連絡や調整をする。